

1月に立ち上げたプロジェクトは、週1回のペースで会議を開き3月末で10回実施しました。会議では、会議所のありたい姿を描きながら それに向けての課題を挙げ どう展開するかについてメンバーの皆さんで前向きに 喧々諤々議論しています。今後は、今までの議論の内容を整理しながら、会員・議員の皆さんと意見交換しながら活性化の方向・進め方をまとめ、5月末の答申を目指します。

下記に、今までの検討状況（内容）について、概要を報告します。

1. 何を検討しているか：

会員の皆さんから頂いた意見は、「この厳しい時代であるからこそ 信頼される会議所にしなくては」の思いが詰っていました。

従って、「会員・地域企業の発展、ひいては地域産業・経済課題を解決する活動」をもっと活発化するために、組織を挙げて行動する仕組みや仕掛けについて検討しています。

2. 具体的に、何を検討しているか：

1). 老舗企業・元気な企業では行動指針や経営方針とも言うべき「社訓・社呈」のある企業が多いですが、当会議所でも それに相当するものとして「理念・使命、めざす姿」を検討しています。（以前から実行してきたものを明文化したい）

2). 又、具体的に「どんな課題をどのように展開・実行するか」についても検討しています。会議所として取り組むべき地域の中期的な課題は何かを拾い出し、誰がどのように展開したら良いかについても検討しています。

3. 検討中の一部（要点）を下記に掲載しますので、意見・提案をお願いいたします。

1). 会議所の行動指針検討（案）：

①理念： 「貢献、自主・自立、参画、挑戦」

②使命・役割：「地域経済課題を解決する、企業を成長・発展させ産業を牽引する」

③目指す姿： 「信頼される会議所」

（松本商工会議所は、101年前に地域企業の有志が自発的に集まり、自主自立・会員主役の精神で、自社の発展と地域商工業の発展を狙って発足し活動を進めてきました、又、最近の厳しい経済課題を踏まえて 何事にも積極的に挑戦すべきでは という観点から検討しています）

2). 会議所として推進すべき中期課題テーマ：（検討案の一例）

①商業ビジョンの高度化と実現にむけて、もっと具体的な進め方（再整理）

②観光・コンベンション産業振興における会議所としての役割と進め方（再整理）

③名産品の地域ブランド化にむけて、具体的な進め方と会議所の役割（再整理）

④工業ビジョンの実現にむけて、3年次チェックと今後の進め方（再整理）

⑤商店街活性化とまちづくりにむけて、もっと具体的な進め方と会議所の役割（再整理）

以上、状況報告です、意見・提言がありましたら、事務局へ メール (mcci@mcci.or.jp) か ファックス (0263-33-1020) にて お願いいたします。